

外来医師一覧表

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----------|----|-----------------------------|--|------------------------|------------------------|------------------------------|
| 外科 | 午前 | 田辺 大朗 | | 田辺 大朗 | 甲斐 幹男 | |
| 整形外科 | 午前 | 西口 雅彦 | 西口 雅彦 | | 西口 雅彦 | |
| | 午後 | | 西口 雅彦 | | | |
| 脳神経外科 | 午前 | | 熊本大学病院医師 黒田(第1週)竹崎(第2週) 賀末(第3週)植川(第4週) | 藤岡 正導 | | 藤岡 正導 |
| | 午後 | | | 藤岡 正導 | | |
| 心臓血管外科 | 午後 | 済生会熊本病院医師 | | | | |
| 循環器内科 | 午前 | 庄野 弘幸 | 庄野 弘幸 | | 庄野 弘幸 | |
| | 午後 | 庄野 弘幸 | 庄野 弘幸 | | 庄野 弘幸 | |
| 呼吸器内科 | 午前 | 済生会熊本病院医師 仁田(第2週)川村(第4週) | | | | |
| 消化器内科 | 午前 | 長島 不二夫 | 藤本 貴久 | 築村 哲人 | 築村 哲人 | 藤本 貴久 |
| | 午後 | | | | 築村 哲人 | |
| 肝臓外来 | 午前 | | | 熊本大学病院医師 瀬戸山 | | |
| 泌尿器科 | 午前 | | | 済生会熊本病院医師 三上(第2、4週) | 済生会熊本病院医師 占部(第1、3週) | |
| 腎臓内科 | 午前 | | | | | 町田 健治 |
| | 午後 | | | 町田 健治 | | |
| 糖尿病外来 | 午前 | | | | | 済生会熊本病院医師 星乃(第2週)、松尾(第3週) |
| 乳腺外来 | 午前 | 田辺 大朗 | | 田辺 大朗 | 甲斐 幹男 | |
| ペインクリニック | 午後 | | | | | 非常勤医師 荒川(第2、4週) |
| 禁煙外来 | 午後 | | | | | 藤岡 正導 |
| 動脈硬化外来 | 午後 | | 藤岡 正導 | | | |
| 脳ドック | 午後 | | | 藤岡 正導 | | |

- 受付時間／午前8:30～11:00（土・日・祝日・年末年始を除く）
- 診療案内／TEL.0964-53-1656 FAX.0964-53-1657
- ※お電話での予約や予約変更は平日14:00～17:00に承っております。
- ※休診日がございますので、事前にお問い合わせください。
- ※再診や紹介状をお持ちの方は事前のご予約をおすすめします。

お知らせ

ホームページに最新の休診情報を掲載していますので、ご覧ください。

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 診療の内容等について十分な説明を受ける権利
3. 治療方法など自分の意志で決定する権利
4. 個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
5. 診療記録の開示を求める権利
6. あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

1. 自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
2. わからない事柄について質問する義務
3. 病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
4. 他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。

「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



59 Take Free.
2022.5



新しい仲間が
増えました

リハビリテーションだより「理学療法士を知ろう」

みすみ病院のできごと／部署紹介[3病棟]

外来医師一覧

[特集] PERIO Dx 始動

理学療法士を知ろう

リハビリテーションだより

はじめに

近年、リハビリやリハビリテーションという言葉は良く耳にし、「怪我や病気になったらリハビリをする」という考えも定着しつつあると思います。

そんな一般的に使用するリハビリテーションという言葉は、いつから使用されるようになったのか知っていますか？またリハビリテーションを専門に行う理学療法士について知っていますか？

今回、リハビリテーションの歴史を紐解きながらリハビリテーションを行う理学療法士について説明していきたいと思っています。

リハビリテーションの起源

リハビリテーション(rehabilitation)の語源は、ラテン語でre「再び」、habilis「人間らしい」、「できる」という語で、「再び人間らしく生きる」、「再びできるようにする」という意味があります。



リハビリテーションの歴史

現在は怪我や病気を治す目的で使用されるリハビリテーションですが、世界的に現在のリハビリテーションという言葉が使われるようになったのは、第一次世界大戦の戦時中から戦後とされています。

戦争で負傷した兵士を短期間で回復させ、再度兵士として復帰できるように行われた行為がリハビリテーションのはじまりとされています。

その後、リハビリテーションの目的が兵士のための職業再訓練に使用されるだけでなく、一般の人が生活全ての機能を発揮できること(再び人間らしくできること)へ拡大しました。

さらに現在においては、単に手足が動くようになるなどの機能回復のみではなく、生活の質(quality of life:QOL)の向上が重視され、現在のリハビリテーションへと普及しました。

理学療法士とは

理学療法士とはPhysical Therapist(PT)とも呼ばれ、一言でいうならば動作の専門家です。怪我や病気などで身体に障害のある人や障害の発生が予測される人に対して、基本的な動作能力(寝返る、起き上がる、座る、立つ、歩くなど)の回復や維持を目指します。

大きく分けて2つの治療方法を用いてリハビリを実施します。

● 運動療法

身体の一部または全体を動かすことで、関節可動域の拡大、筋力強化、麻痺の回復、痛みの軽減など運動機能に直接働きかける治療法です。

● 物理療法

温熱、寒冷、電気刺激等の物理的手段を治療目的に利用する治療法です。これを用いて対象者の機能回復や自立した日常生活の自立支援を行います。



理学療法士を知ろう

理学療法の対象

理学療法の対象者は主に運動機能が低下した人々ですが、そうなった原因は問いません。怪我や病気はもとより、高齢や手術により体力が低下した方々などが含まれます。

最近では運動機能低下が予想される高齢者の予防対策、メタボリックシンドロームの予防、スポーツ分野でのパフォーマンス向上など障害を持つ人に限らず、健康な人々に広がりつつあります。また、運動・動作の専門性を生かし、福祉用具の適用相談、住宅改修相談も行います。



重錘を使用した筋力訓練のリハビリ



左足に対して長下肢装具を使用した立位訓練のリハビリ



関節可動域訓練のリハビリ

理学療法士の活動する場所

理学療法士は怪我や病気になった方のみではなく、「赤ちゃん」から「お年寄り」までの人生の様々な場面でサポートします。

- 病院／診療所
- 障害者福祉センター／ハローワークでの就労支援／特別支援学級・学校
- こども～女性・アスリートのスポーツ支援
- 介護予防／健康促進／フレイル予防
- 通所リハビリテーション／訪問リハビリテーション
- 大学院／研究所／企業
- 市・役所／保健所／地域包括支援センター
- 災害時のリハビリテーション支援

当院における理学療法士の役割

現在、当院には20名の理学療法士が在籍しています。一般病床・地域包括ケア病床・回復期リハ病棟・外来リハビリ、訪問リハビリ・通所リハビリと多岐にわたり、リハビリを実施しています。

具体的には、手足や背骨の骨折による筋力低下や歩行能力低下に対して、関節可動域訓練や筋力訓練、歩行訓練などのリハビリを行います。脳卒中という病気では後遺症として手足の麻痺等が認められる場合があるため、手足を動かす訓練や足に装具等を使用した歩行訓練などのリハビリを行います。

訪問リハビリでは、住み慣れた家での生活や通い慣れた道の移動を安心して実施できるように、自宅環境での訓練や環境整備、精神的なサポート等を行います。

通所リハビリでは、主体性のある自立・自律した生活が再獲得できるように運動や歩行訓練に加え、畑作業やゴルフなど自宅や地域での生活を想定した訓練を実施しサポートしております。

理学療法士の個の能力を生かしながら、医師・看護師・作業療法士・言語療法士・介護士・ソーシャルワーカーなどの多職種と連携し、その人らしく生活するための支援を行います。



訪問リハビリより、酸素療法を行いながらのリハビリ



リハビリ庭園にて屋外歩行訓練のリハビリ



通所リハビリテーションでのリハビリ





PERIO-DX オンライン実施

PERIO Dx 始動

済生会熊本病院
×
済生会みすみ病院

2016年から熊本病院で運用しているPERIOとDX技術を融合し、済生会みすみ病院と済生会熊本病院が連携することで、地域住民の移動負担を軽減させ、より効率的で質の高い医療を提供することを目標に取り組んできました。

今回、2022年1月20日(木)に初回となる頸動脈内膜剥離術(CEA)の方を対象として、済生会熊本病院で行われていた「手術説明」「麻酔説明」「入院前支援」を済生会みすみ病院でオンラインで実施しました。また、薬剤師・管理栄養士・セラピストによる術前介入や術前検査を済生会みすみ病院で実施しました。これらにより、済生会熊本病院までの移動負担(2回分の通院)を軽減することができました。

済生会みすみ病院と済生会熊本病院で連携しながらチーム医療を実現させるのが、PERIO-DXです。

【PERIO-DXプロジェクトチーム】

PERIO-DXとは/ PERIO(Perioperative management team周術期管理チーム)・・・術中・術後の急変リスクの低減を目的として、麻酔科と各診療科をつなぐコンサルテーションチームのこと。ハイリスクの予定手術を対象。
DX(Digital Transformation)・・・デジタル技術を進化させてより良いものへ変革させること。

当日の様子/済生会みすみ病院



みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

開院記念清掃活動



3月1日の開院記念日にあたり、当院の理念である『地域貢献』として3月4日終業後に清掃活動を行いました。

例年、天草パールラインマラソン開催に伴いマラソンコースの清掃活動を行っていましたが、大会中止に伴い今年度は病院周辺のゴミ拾いと落ち葉集めを行うことになりました。周辺道路には木々が生き茂っているため落ち葉がとて多く、竹箒とちりとりで必死に集めること1時間、10袋以上集めることができました。

職員同士が業務以外の時間を過ごすことがほとんどない状況が続いていましたが、今回久しぶりの病院行事を実施したことで、スタッフ同士も親交を深めることができました。

地域交流推進委員会

部署紹介★

お互いに声をかけあいながら 日々業務にあたっています。

3病棟は一般病床と地域包括ケア病床がある病棟です。一般病床では緊急入院が入ることがあり、ほどよい緊張感のなか、お互いに声をかけあいながら日々業務にあたっています。

地域包括ケア病床ではリハビリスタッフなど多職種でカンファレンスを行い、連携しながらよりよいケアが出来るように頑張っています。

3病棟

